

みどり病院のリニューアル工事が始まります



2020年に、みどり病院のリニューアル(新築移転)を正式に決定し、地域や職員の意見や要望を聴きながら、2024年春の開業に向けて準備を進めてきました。8月には新病院周辺の道路整備などの開発工事が始まり、10月には病院本体工事が着工する予定です。

現みどり病院は多くの地域住民のみなさんの支援のもと建設されましたが、施設の老朽化がすすむとともにバリアフリーではないため、高齢者などの療養環境の不十分さを改善する目的でリニューアルをすすめることになりました。すでにお知らせのとおり4階建てで1階部分が外来、2階3階部分が入院病棟になります。周辺道路の拡張など病院へのアクセスも改善する予定です。新病院のイメージ動画を下記QRコードにてご覧ください。

2020年に、みどり病院のリニューアル(新築移転)を正式に決定し、地域や職員の意見や要望を聴きながら、2024年春の開業に向けて準備を進めてきました。8月には新病院周辺の道路整備などの開発工事が始まり、10月には病院本体工事が着工する予定です。

これは、これまで地域のみなさんの協力や、建築資材は、物価高騰の中で建設という困難さもあります。また、入院ベッドの増床や新設科など新たな事業拡大のない投資で現状から大幅な収益の増加が望めない中での建築となり、資金的には大きな困難を伴います。これまで病院や診療所など事業所を資金や運動で支えていただいた友の会のみなさんと共に、さらに新しい会員さんを広げご協力の呼びかけをより一層強めましょう。

今後、コロナ禍ではありますが地域での説明会を再開し、職員が積極的に地域に出かけ、地域のみなさんとの対話をすすめていく予定です。また、着工を祝う企画(モルック大会など)や、地域のみなさんと考える記念に残る様な物を新病院の一部に設置するなど、ともに楽しく新病院建設を盛り上げていきたいと考えています。

岐阜健康友の会のみなさんには、引き続き勤医協基金へのご協力をよろしくお願いいたします。周りのみなさんにも声掛けをお願いいたします。また、病院利用のみなさんや近隣住民のみなさんには、工事の騒音や車両の出入り、駐車場の移動など、いろいろとご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

(新みどり病院建設運動推進委員会 土井 正則)

QRコードから、新みどり病院の3Dイメージ動画が見られます。是非ご覧ください。



憲法を守り国民のいのちとくらしを守る政治を、参議院選挙で改憲NOの審判を!

岐阜民医連では、民医連事業所と岐阜健康友の会、民医連の労働組合などと共同して憲法改悪阻止闘争本部を立ち上げ、「憲法改悪を許さない全国署名」を軸に、職員や友の会、地域で学習や宣伝行動を行っています。

憲法改正のための国会での発議には、衆参両院で2/3以上の同意が必要です。昨年の総選挙で自民党、公明党、維新の会などの改憲勢力は3/4以上の議席を占めました。今回の参議院選挙で改憲勢力が2/3以上の議席を確保すれば、2025年まで国政選挙のない3年間を確保することになり、この間に国会発議、国民投票へと突き進む計画です。何としてこの参議院選挙で改憲勢力の議席増を阻止しなければなりません。

そして、ロシアのウクライナ侵略に乗じて安倍元首相はじめ自民党や維新の会から、憲法9条を変え、自衛隊に敵基地攻撃能力を持たせ、米軍と共同し核兵器まで持つという議論がでています。軍事対軍事では、軍拡競争を拡大させ、より一層戦争の危険が高まるだけです。9条改憲を許さず、「戦争しない国日本」を守ることがこそが平和な日本、平和な世界をつくる唯一の道です。

目前に迫った参議院選挙で、「命を根こそぎ奪う一切の戦争を許さない」の一点で声を上げ、憲法を守り、国民のいのちとくらしを守る政治の実現のために、改憲勢力に改憲NOの審判をくだしましょう。

(岐阜民医連憲法改悪阻止闘争本部 土井 正則)

健康 春秋

中学生の頃、トルストイの「戦争と平和」を読み、読書の醍醐味を知りました。トルストイの他の作品を読み、その後ドストエフスキーやゴッリキーを読み、またウクライナの東部に近いドン川の周辺を舞台にしたシヨロホフ「静かなるドン」など、高校時代、ろくに勉強もせずに読み継いだ経験があります▼その後文学的ロシアの世界はチエーホフでした。そのチエーホフの作品「子犬を連れた奥さん」は、高級リゾート地、クリミア半島南部のヤルタが舞台となっていました。そのクリミア半島を武力でもって支配しているのが今のロシアで、今回のウクライナ侵襲と深いつながりがあります。ウクライナにとってその事件は許されないもので、おそらくいつか取り返すべき準備がなされていたようです▼クリミアと同じように、プーチンのロシアは簡単にウクライナを手玉にとることができると軍事侵襲を始めたのですが、いまのところ(五月八日)決着はつかず、攻めあぐねているロシアと必至に抵抗しているウクライナ、という構図は変わらないようです▼膨大な死者を出した独ソ戦の舞台となり、またスターリンによる「ホロドモール」と言われる大量の餓死等、悲惨な歴史を持つウクライナの歴史から学ぶべきことは多いようです▼そのうえで、「平和」を取り戻すためになにが必要かを学ぶ努力が求められています。その努力は日々流れている情報を正しく理解するためにも必要なのです。(K)